

2011年度

科目名	文化財学研究指導及び演習(文化財形態論)				
担当教員	小林 典子				
配当	文修1・文博1		コード	12030	
開期	通年	講時	月曜日2限	単位数	4
授業テーマ	文化財学のうち、とくに西洋美術領域における文化財(絵画、彫刻、建築その他の芸術ジャンル)を中心に研究指導をおこなう。				
目的と概要	西欧文化財のなかから、ゴシック後期から初期ルネサンス期におけるフランスやイタリア・フランドル等の「写本彩飾挿絵研究史」を研究モデルとしてとりあげ、これについての基礎的講義をおこないつつ理論構築の技法を身につける。その一方で、各自の修士論文作成へむけての準備にとりくみます。前期授業中に各自研究テーマを設定し、後期授業では選択したテーマについて研究発表をおこないます。資料収集と資料読解技術の向上にも積極的にとりくみたい。				
成績評価法	学期末に提出するレポート(70%)+平常点や授業時のミニ・レポート(30%)				
テキスト	授業中に資料配布				
参考書	『美術史と美術理論』(木村三郎 放送大学教材) その他必要に応じて指示				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	資料として基本参考文献からの抜粋を適宜配布するので、概要をよく把握し、各研究者独自の方法と論の組み立て方を学ぶよう努めたい。				
講義計画					
【前期授業】					
第1回 開講にあたって：授業プログラムとオリエンテーション					
第2回 資料検索の実践					
第3回 研究モデル講義（1）					
第4回 研究モデル講義（2）					
第5回 研究モデル講義（3）					
第6回 研究モデル講義（4）					
第7回 研究モデル講義（5）					
第8回 研究モデル講義（6）					
第9回 研究モデル講義（7）					
第10回 研究モデル講義（8）					
第11回 研究テーマ設定にむけて、研究法の学習と実践（1）					
第12回 研究テーマ設定にむけて、研究法の学習と実践（2）					
第13回 研究テーマ設定にむけて、研究法の学習と実践（3）					
第14回 研究テーマ設定にむけて、研究法の学習と実践（4）					
第15回 総括					
【後期授業】					
第1回 開講にあたって：授業プログラムとオリエンテーション					
第2回 研究発表とディスカッション（1） (各自の研究テーマについて発表をおこない、資料の収集やテーマの分析、論の構築法など、研究の進め方を検討していく。)					
第3回 研究発表とディスカッション（2）					
第4回 研究発表とディスカッション（3）					
第5回 研究発表とディスカッション（4）					
第6回 研究発表とディスカッション（5）					
第7回 個人面談と論文の推敲（1）					
第8回 個人面談と論文の推敲（2）					
第9回 個人面談と論文の推敲（3）					
第10回 研究発表とディスカッション（6）					
第11回 研究発表とディスカッション（7）					
第12回 研究発表とディスカッション（8）					
第13回 個人面談と論文の推敲（4）					
第14回 個人面談と論文の推敲（5）					
第15回 総括					